



ニュースレター創刊にあたって

総務・国際交流担当理事、副学長 安全・安心機構長 櫻井 克年



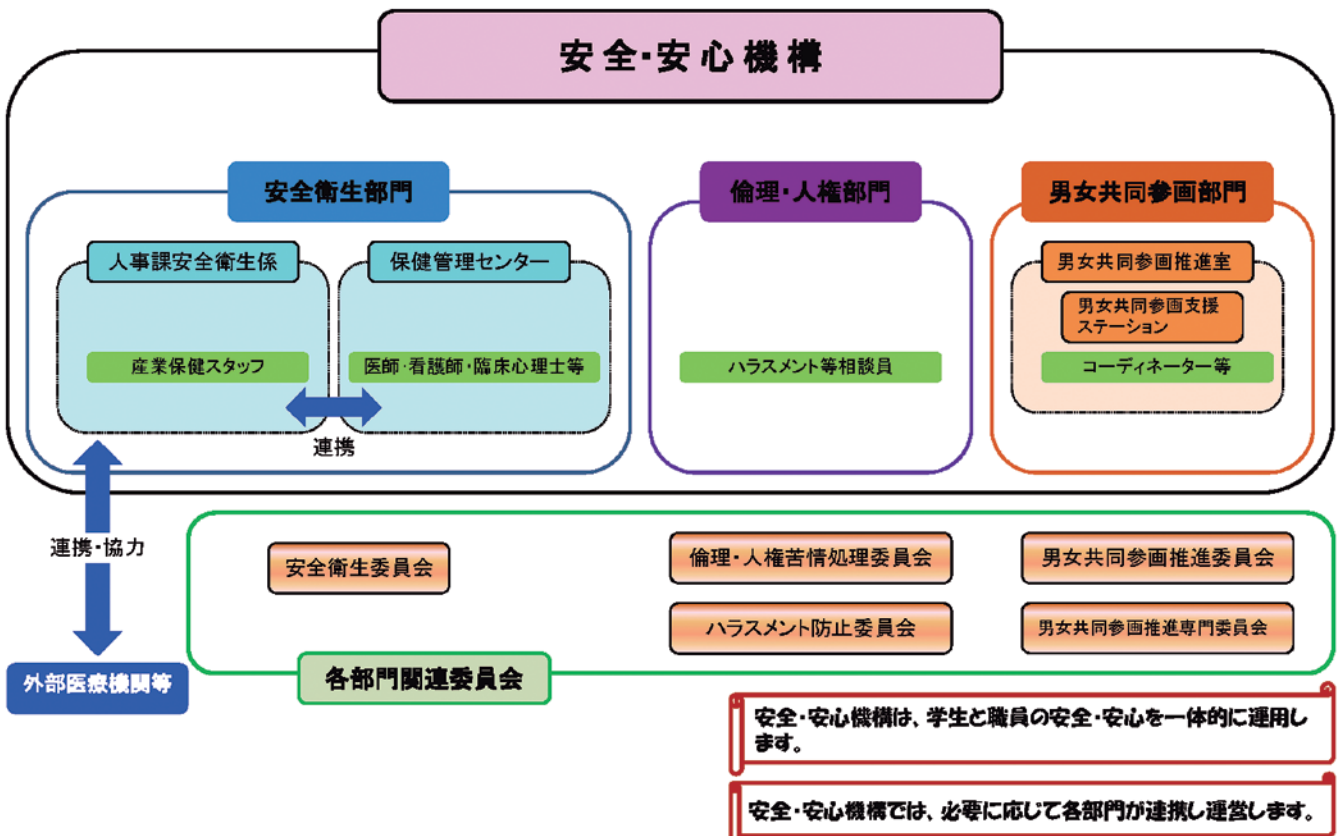
高知大学は、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する「環境・人類共生」(以下「環・人共生」)の精神に立脚し、自然及び環境保全と、住民の安全・健康とクオリティ・オブ・ライフ(生活の質)の向上を目指した研究を推進し、人と環境との調和のとれた発展に貢献しています。

平成17年3月に第1期次世代育成支援事業行動計画(平成17年4月～平成22年3月)を策定し、「産前休暇期間を6週間から8週間に延長(平成17年度)」、「岡豊地区(医学部)に保育施設を設置(平成18年度)」、「育児短時間制度の導入(平成21年度)」、「大学入試センター試験時の託児所設置(平成21年度)」などの取り組みを行いました。平成22年度には、これらの取り組みが認められ、「基準適合一般事業主認定証(くるみんマーク)」、「高知県次世代育成支援企業認証(くろしおくんマーク)」を取得しています。

平成24年4月、高知大学は総合的な安全・安心づくりに取り組む組織として安全・安心機構を設置しました。同機構に男女共同参画部門を組織し、男女共同参画の意識啓発、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む目的で男女共同参画推進室を開設しました。同年8月には、平成24年度文部科学省「女性研究者研究活動支援事業」に採択されましたので、推進室内に男女共同参画支援ステーションを開設し、研究支援員制度や力仕事サポーター制度の導入など、ライフイベントと研究の継続で悩む研究者への相談や両立支援などを実施しています。

今後とも、皆様のご支援を、よろしくお願いいたします。

国立大学法人高知大学安全・安心機構図



「男女共同参画推進室 しあわせぶんたん」 「男女共同参画支援ステーション Vita-min」が 発足しました!

平成25年1月、育児・介護と仕事の両立、キャリア形成支援を通じて女性研究者を支援するための組織として、男女共同参画推進室内に「男女共同参画支援ステーション」を設置しました。

同支援ステーションは、性別にかかわらず持続可能な仕事環境づくりを目指して、介護や育児などライフイベントと仕事の両立をサポートすることで、女性研究者にとっても持続的な研究環境を実現していきます。その結果として、多くの優秀な女性研究者が高知大学の研究職に応募していただけるような環境整備を目指していきます。

男女共同参画推進室は、地域社会との連携も視野に入れて、広く高知大学で働く教職員の男女共同参画意識の醸成、生活と仕事の両立、ワーク・ライフ・バランス等の実現に取り組んでまいります。皆さんに親しんでいただけるように、男女共同参画推進室の愛称を「しあわせぶんたん」といたしました。名前の由来は、家事や仕事の分担ではなく、幸せを分担できるような仕組みづくりにしたいという思いと、高知の特産品で柑橘系の香りが人を元気にさせる「文旦」を組み合わせました。

また、生活と仕事の両立、キャリア支援を通じて、チャレンジする人を応援するための支援ステーションの愛称を「Vita-min」としました。これは、Vitalize Your Challenging Mindから考えたものです。文旦のビタミンとして、チャレンジする人を支援していきたいと思えます。

男女共同参画社会は、生活したいと考える社会を目指して、男性女性かかわりなく、ひとりひとりが社会のデザインづくりに携わることのできる社会であると考えます。大学の男女共同参画の取り組みも同様と考えています。皆さんのアイデアや意見を反映できる仕組みを整備しながら、制度づくりや制度運営に取り組んでまいります。文旦の木にビタミンが溢れる文旦の果実が実りますように、皆さんのご協力をお願いいたします。

男女共同参画推進室 室長(特任講師) 廣瀬 淳一

●男女共同参画支援ステーションの体制

廣瀬 淳一 安全・安心機構 特任講師 男女共同参画推進室長
小島 優子 安全・安心機構 特任助教 男女共同参画支援ステーション長
籠尾 千景 男女共同参画推進室 事務補佐員
古味 裕子 男女共同参画推進室 事務補佐員

●推進室の役割

- 男女共同参画の意識啓発
- 女性研究職キャリア支援
- ライフイベント期間中の研究活動支援
- 育児・介護等と仕事の両立支援
- ワーク・ライフ・バランスの改革推進
- 女性研究者の採用人数及び上位職女性研究者を増加させる取り組み



平成24年11月20日 文部科学省主催 女性研究者研究活動支援事業合同シンポジウム
—今後の女性研究者研究活動支援について—に参加しました。

平成24年11月30日 第4回中国四国男女共同参画シンポジウムに参加しました。

平成25年2月10日 高知大学男女共同参画推進室 女性研究者研究活動支援事業 キックオフシンポジウム
『自分も幸せに みんなも幸せに 暮らせる社会づくり ~「つくる」時代を迎えて~』を開催しました。

平成25年2月21日 「~渥美さんに聞く! 育児・介護も仕事も充実させる生き方!」を開催しました。

「女性研究者&イクメン研究者交流会」を開催しました

交流会では、「研究支援員制度」や「力仕事サポーター制度」に関するご質問や、保育や大学内の環境整備に関して活発なご意見を頂きました。

朝倉キャンパス(平成25年1月9日)

8人参加



岡豊キャンパス(平成25年1月17日)

9人参加



皆さんから頂いたご意見

- 子連れでできる交流会がほしい
- 病児保育が必要!
- 休日、17時以降の会議をなくしてほしい!
- 医学部の保育所が、大学教職員全体に開放されれば、朝倉や物部からでも利用したい



物部キャンパス(平成25年1月17日)

9人参加



『高知大学男女共同参画推進室 女性研究者研究活動支援事業 キックオフシンポジウム 自分も幸せに みんなも幸せに 暮らせる社会づくり ～「つくる」時代を迎えて～』を開催しました。



平成25年2月10日(日)、高知大学朝倉キャンパス共通教育棟222番教室にてキックオフシンポジウムを開催いたしました。共通教育科目を履修の学生の他、県内外から総勢200人の参加者がありました。

基調講演には、首都大学東京副学長の江原由美子先生から、変革期にある日本社会の状況について、たくさんの統計資料を用いたわかりやすいお話をいただきました。また、東海大学ワーク・ライフ・バランス推進室特任助教の谷俊子先生より、東海大学の女性研究者支援の取り組みとキャリア形成についてご自身の経験を織り込みながら具体的なお話をいただきました。そして、お二人の講師の他、高知大学人文学部教授の岩佐和幸先生、同じく高知大学教育学部准教授の森田美佐先生が参加したパネルディスカッション「持続可能な生活と研究環境について」では、先生方の日常や苦労したご経験について話があり、普段の授業からでは知ることができない研究者の本音に、参加者は、興味深く聞き入っていました。

シンポジウム後の交流会にもたくさんの方が参加してくださり、相談や情報交換が行われました。

このシンポジウムは、平成25年2月11日の「高知新聞」に「日本型雇用が女性阻む 男女共同参画へ江原由美子さん講演」と掲載されました。



シンポジウム参加者の感想

「女性からすると、このような女性の社会進出をテーマとした活動があることは、とても心強く、そして強く生きることが大事だと思った。しかし、女性自身も女性だからという甘えがあることもあるんじゃないか、とも思った」(学生・女性)

「学術分野ではまだまだ女性の割合が少ないということは知らなかった。男女共同参画といってもまだまだなんだと思った。もっといろんなサービスや体制を整えて、女性がより社会に出れるように、また活躍できるようになって、日本の産業や技術、研究など様々な分野での発展がさらなるものになればいいなと思う」(学生・男性)

「何故女性教員を増やさなければならないか。その理論的説明の裏付けの根拠をたくさん知ることができました。」(教員・女性)



REPORT

共通教育科目「男女共同参画社会を考える」を 2月10～13日に実施しました

「男女がともに生き生きする社会」「新しい時代の暮らし方と働き方」を講義テーマとし、複数の講師によるリレー形式の集中講義を実施しました。受講希望者は240人を超えたために抽選を行い、定員の194人が受講しました。2月11日4限の杉山文野さんの講義は、「毎日新聞」平成25年2月13日朝刊に「『ありのまま』受け入れて 杉山さん体験語る 高知大」と掲載されました。



10日(日) 3,4限は「男女共同参画推進室女性研究者研究活動支援事業キックオフシンポジウム」と兼ねました

- ①男女共同参画社会とは(オリエンテーション) (中川香代 人文)
- ②労働の視点からみた男女共同参画 -労働政策- (高知労働局男女均等室 藤田恭子室長)
- ③日本社会における男女共同参画 ~現状と課題~ (首都大学東京 江原由美子)
- ④大学における女性研究者支援の事例紹介 (東海大学 谷俊子)
持続可能な研究活動 (パネルディスカッション: 森田(教育)、岩佐(人文)、江原、谷)

11日(月・祝)

- ①大学の男女共同参画の取り組み -教養・人間関係・キャリアを組み立てる- (男女共同参画推進室 廣瀬淳一室長 小島優子コーディネーター)
- ②高知県の男女共同参画の取り組み -地域社会・行政と男女共同参画- (高知県文化生活部男女共同参画課 武政龍司課長)
- ③DV(家庭内暴力)の課題と人権 (高知県女性相談支援センター 矢野川禎子所長)
- ④多様性への理解にむけて -性不一致ということ- (杉山文野 NHK Eテレ「Our Voices」司会者)

12日(火)

- ①法律の視点からみた男女共同参画 -憲法のなかの男女共同- (藤本富一 教育)
- ②福祉の視点からみた男女共同参画 -高齢社会・介護とジェンダー- (西島文香 人文)
- ③地理学からみたジェンダー (国際社会について 共同参画度の比較・課題) (後藤拓也 人文)
- ④男女共同参画とジェンダーの考え方いろいろ (武藤整司 人文)

13日(水)

- ①育児の視点からみた男女共同参画 -イクメンの勧め- (岩佐和幸 人文)
- ②心理・恋愛・ジェンダーの視点から男女共同参画を考える (増田匡裕 人文)
- ③家族の視点からみた男女共同参画 -私と家族のライフデザイナー- (森田美佐 教育)
- ④試験



医学部附属病院 院内保育所 こはすキッズ見学



平成25年1月17日に、こはすキッズを見学させていただきました。こはすキッズは昨年3月に学内の部屋から移動して新しく独立しました。木の香りのする綺麗な施設です。現在、39人のお子さんが入所されています。現在は、定員に余裕がないので、産休・育休の方はお断りしている状況です。一時預り保育にご登録されると、定員に余裕がある場合には、「一時預り保育」をご利用することができます。一時預り保育が必要な方は、ぜひご登録ください。

入所対象 高知大学医学部附属病院職員が養育する0歳児～6歳児(就学前)

保育時間

- ①基本保育 7:30～18:30
- ②延長保育 6:30～7:30及び18:30～20:30
- ③24時間保育 水・木曜日の18:30～翌日7:30

ただし、保育は業務中及び通勤・準備にかかる間とします。

保育料

- ①基本保育(1か月当たり)
0歳児(6か月以上) 41,000円 1歳児～3歳児未満 39,000円
3歳児～4歳児未満 37,000円 4歳児以上 33,000円
- ②24時間保育 1人1回1,000円
- ③延長保育 1人200円/30分
- ④一時預り保育 1人200円/30分



こはすキッズ

お問い合わせ：TEL&FAX088-880-2691 南国市岡豊町小蓮185-1

1月19・20日センター試験日には、 朝倉キャンパスのおうち樗クラブで 託児が実施されました

1月19・20日のセンター試験日には、朝倉キャンパスの樗(おうち)クラブで託児が実施されました。両日とも、教職員のお子さん5人(10歳～2歳)が利用されました。



「子どもたちも喜んでいました。続けていってほしいと思います」 (教員・男性)

利用者の
方の声

「子どもも喜んでいました。ただわたしの場合、土曜日は社会人の方のための大学院の授業もあり、子どもとゆっくり過ごせる時間は日曜日だけです。なので、せめて子どもが小学校にあがるくらいまでは、センター試験の担当から外すなどしてほしいというのが本音です」 (教員・女性)

「安心してセンター試験監督に従事できる。センター試験だけでなく、他の試験、休日業務の時も開いてほしい」 (教員・女性)

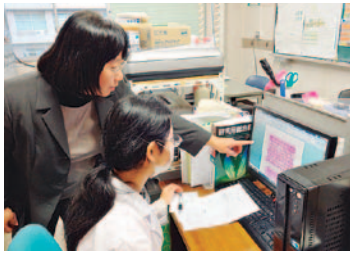
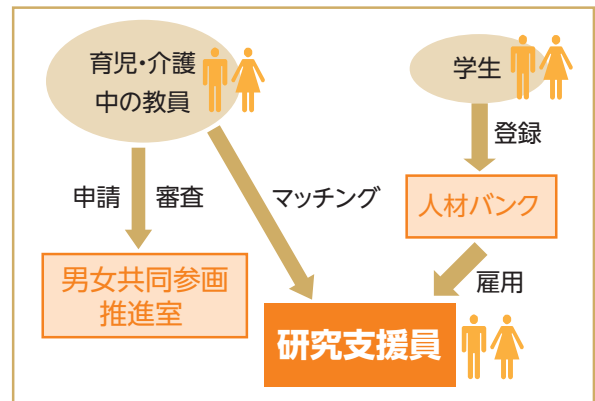
「託児がなければ、監督者を引き受けなかった。楽しそうに遊んでいたようで満足しています。施設や業者の関係上仕方のない面が大いとは思いますが、今後、病児保育のようなものが拡充されると、たいへんありがたいです」 (教員・男性)





研究支援員制度のお知らせ

研究活動支援(実験補助・データ解析・統計処理・資料作成等)を必要とする教員・研究員のために、研究支援員を配置します。利用教員は、受け入れた研究支援員に対して、次世代の研究者を育成するために業務内容を監督・指示し、ロールモデルやメンターとして啓発を行います。男女共同参画推進室では、任期中・任期終了後にかかわらず、研究支援員の希望に応じてキャリアパス等に関する相談等を受け、将来研究者になることを希望する者に対して、研究者としてのスキル獲得に有効な支援や必要な情報の提供、および指導を行います。研究支援員利用教員は高知大学の教員・研究員で妊娠・育児(小学6年まで)・介護中の方です。詳細は男女共同参画推進室までお問い合わせください。



島内理恵准教授(教育研究部自然科学系理学部門)と研究支援員の中村祐子さん(大学院総合人間自然科学研究科理学専攻・修士課程1年生)



岩佐和幸教授(人文学部)と研究支援員の康雅智さん(大学院総合人間自然科学研究科人文社会科学専攻・修士課程2年生)

力仕事サポーター制度のお知らせ



個人の研究のために、実験等で使用する重い機械等の運搬・操作の補助、書籍運搬等が必要な際に、短時間の「力仕事サポーター」が随時支援を行います。

募集対象

高知大学に勤務する大学教員・研究員(特任教員・特任研究員を含む)の女性。
※「女性研究者研究活動支援事業」は、女性研究者が研究活動を継続するに当たって生じる諸課題を解決する取り組みを対象としています。



男女共同参画推進室内「男女共同参画支援ステーション」相談コーナーのお知らせ

男女共同参画推進室では、研究職のキャリア相談、および育児・介護と仕事の両立の相談を承っております。男女共同参画の推進のために、皆様のご要望をお寄せください。

育児・介護情報や、育児中・介護中の職員の情報交換を行います。また、研究者を目指す学生のキャリア相談や、キャリアについて迷っている方のご相談をうかがいます。

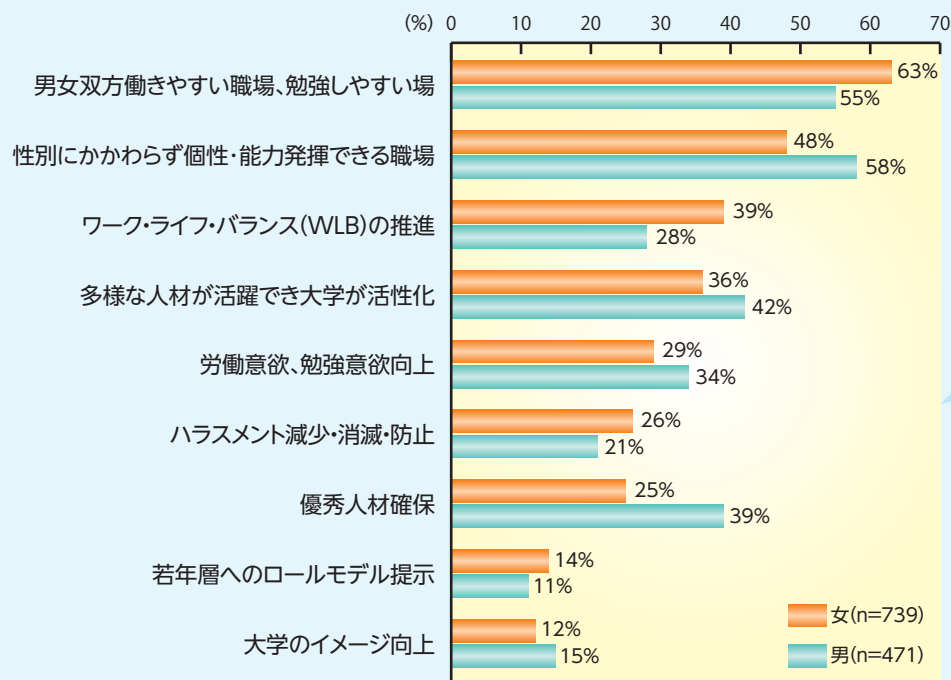
対象：教職員・学生(男女を問いません)
時間：9:00～16:00(月～金)



高知大学では、平成24年10月22日より、大学ホームページの「教員募集」に、「高知大学では『高知大学における男女共同参画の基本理念・基本方針』のもと、男女共同参画社会の実現をめざしています」と掲載しています。



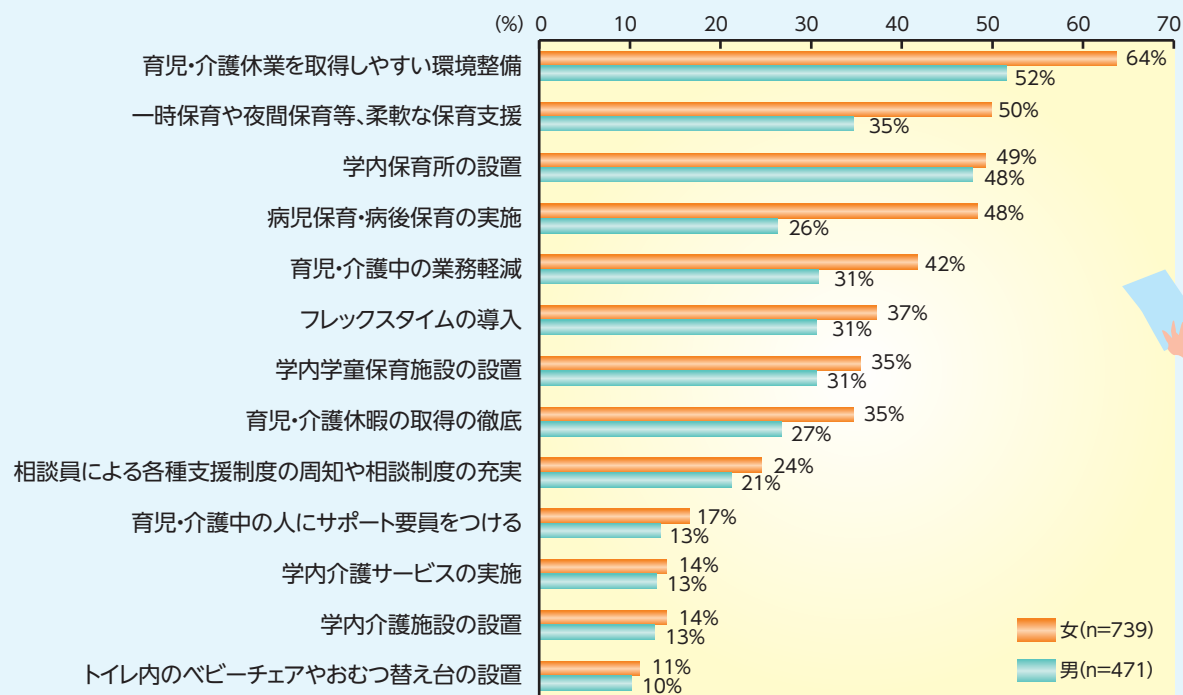
「高知大学における男女共同参画に関する意識・実態調査」(平成23年度3月)より



大学の男女共同参画の
取り組みにどのような
ことを期待しますか？

男女共同参画の取り組みとして、大学が男女双方にとって働きやすい場、勉強しやすい場になることが期待されています。

仕事と、家事や育児・介護等を含む私生活を両立させるためにはどのような支援策が必要か



編集・発行

高知大学 男女共同参画推進室 朝倉キャンパス 総合研究棟内
TEL088-888-8020, 8021, 8022 FAX088-888-8023
E-Mail : sankaku@kochi-u.ac.jp

